

**製品名: ARHGAP23 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07125**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	ARHGAP23
別名	ARHGAP23; KIAA1501; Rho GTPase-activating protein 23; Rho-type GTPase-activating protein 23
遺伝子 ID	57636.0
SwissProt ID	Q9P227
免疫原	ARHGAP23 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 470-550

**背景**

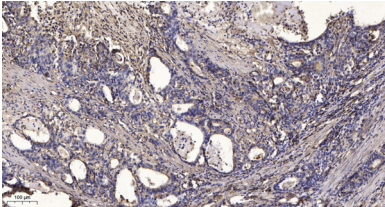
小型 GTPase の RHO (ARHA、MIM 165390 を参照) ファミリーは、膜貫通受容体を介したシグナル伝達に関与しており、GDP 結合型

では不活性で、GTP 結合型では活性です。 ARHGAP23 などの GTPase 活性化タンパク質は、RHO ファミリータンパク質の GTP 加水分解を刺激することで不活性化します (Katoh and Katoh, 2004 [PubMed 15254754])。 [OMIM 提供、2008 年 3 月],機能: Rho 型 GTPase を不活性な GDP 結合状態に変換することで、GTPase 活性化因子として機能します。 ,類似性: PDZ (DHR) ドメインを 1 つ 含みます。 ,類似性: PH ドメインを 1 つ含みます。 ,類似性: Rho-GAP ドメインを 1 つ含みます。 ,組織特異性: 胎盤、前立腺、海馬、脳髄質に発現します。また、脳腫瘍、唾液腺腫瘍、頭頸部腫瘍にも発現します。 ,

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト胃腺癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、45 分)。